

鎌倉市鎌木清方記念美術館 令和5年度（2023年度）第1四半期実績評価

1 美術館の利用の承認等に関する業務

● 来館者数の動向

- ・第1四半期の来館者数は5,150人で、前指定管理期間の同四半期来館者数平均値7,532人に対して、約68.4%の来館者数であり、評価水準の80%に満たなかった。
- ・昨年度の同四半期来館者数5,941人と比較すると791人、約13.3%減少した。

2 美術館の施設及び設備の維持管理並びに運営に関する業務

● 施設・設備の維持管理

- ・保守点検を計画どおり、適切に実施した。

● 施設の運営

- ・展覧会のチラシやポスター等を作成し、周知を積極的に実施した。
- ・窓口における受付及び施設案内を適切に実施した。
- ・SNSを活用し、館及び展覧会の周知を積極的に実施した。

3 美術館の事業の企画及び実施に関する業務

● 展示・その他事業

・前四半期から引き続き4月9日までの企画展「花咲くよるこびー清方が描いた花々」では季節の草花が描かれた作品を紹介した。4月13日から5月17日までは開館25周年を記念し、清方が鎌倉で暮らした晩年の作品を中心に特別展「清方、鎌倉に住まう。一晩年の作品を中心に」を開催した。5月20日から6月26日までは特別展「東の美人画家、鎌木清方～上村松園とともに」において、大正期の江戸情緒豊かな作品を中心に、「西の美人画家」と称される上村松園の作品も交えて紹介した。

* 展示替 4月は58点、5月は59点、6月は80点の展示替をそれぞれ実施した。

- ・計23回の展示解説を行い、460人が参加した。
- ・4月1日と2日に親子・子ども参加プログラム「浮世絵の多色摺り技法を体験してみよう！」を開催した。（参加者21人）
- ・4月18日から24日まで、地下道ギャラリー50において、展示を行った。
- ・4月25日から29日まで各日1回、日替わりのテーマで市民講座を開催した。（参加者60人）
- ・6月13日に美術講演会「くらべて深まる美人画の世界」を開催した。（参加者37人）
- ・6月18日に日本画ワークショップ「岩絵の具を使って、日本画を描いてみよう！」を開催した。（参加者24人）

● その他必要な業務

- ・鎌木美術品の調査研究を実施した。

4 鎌木美術品等の収集、修復、調査研究等に関する業務

● 収集・保管

- ・作品の所在確認を4月20日、5月25日、6月15日に実施した。結果は、良好であった。
- ・美術品の適切な温湿度管理を実施した。

● 調査・研究

4月

- ・昭和20～40年頃の清方のスケッチの調査
- ・清方の随筆における鎌倉での生活についての記述の調査
- ・清方の日記の調査
- ・上村松園についての調査
- ・芝居スケッチの調査
- ・清方論の先行文献の調査
- ・清方の劇評に関する文献調査

5月

- ・紙平版画の素材に関する調査
- ・清方が大佛次郎のことを書いた文章に関する調査
- ・大佛次郎が清方のことを書いた文章に関する調査
- ・上村松園に関する調査
- ・清方の日記の調査

- ・清方の芝居スケッチの調査
- ・横尾芳月作品の調査
- ・清方《初冬》の作品調査
- ・清方《芙蓉と美人》、《清秋》の制作年調査
- ・《明治時代美人画集》口絵原画の調査

6月

- ・紙平版画の素材についての調査
- ・雑誌『苦楽』についての調査
- ・渡辺霞亭著『新渦巻 光子の巻』についての調査
- ・当館蔵芝居スケッチの調査
- ・橘小夢作品の実見調査
- ・『文藝倶楽部』の山川秀峰、池田輝方の口絵の調査
- ・清方の日記の調査

いずれも計画どおり調査・研究を実施した。

出版物の管理及び保管を適切に実施した。

5 その他市長が定める業務等

● 事務処理

- ・例月の指定管理業務報告書を決められた期日までに提出した。
- ・休館情報や展示替えに伴うホームページの情報更新を適切に実施した。
- ・市民への周知として市広報に展覧会の情報を掲載した。

● 事故・苦情対応

- ・特になし

● その他

- ・4月1日から、インターン生を受け入れた。(1名、慶應義塾大学大学院)
- ・5月15日から、近隣4館との連携でスタンプラリーを実施した。
- ・5月の特別展では、清方生誕145周年記念として会期中の先着20人に絵はがきのプレゼントを実施した。
- ・川喜多映画記念館と協力し、「紫陽花の咲く記念館を巡る展示解説ツアー」を実施した。(3日間合計74人参加)

6 全体評価

・第1四半期の来館者数は5,150人で、昨年同四半期の5,941人に比べて、791人・約13.3%分減少した。また、前指定管理期間の同四半期来館者数平均値(7,532人)の約68.4%と、評価水準の80%に満たなかった。そのため5点減点とするが、紫陽花を取り上げた近隣館との連携イベントの実施や、展示解説の回数を増やす等、新たな来館者を呼び込もうとする積極的な姿勢は評価できる。第2四半期も引き続き、来館者の増加を目指し、企画の充実や広報活動に取り組まれない。

・作品及び資料の調査研究を引き続き計画的に進めるとともに、その成果をより多くの方々に伝えていくよう積極的に取り組まれない。

・施設の維持管理業務に関しては、日常点検をはじめ、各種定期点検を計画的に実施している。市への報告も徹底されており、適切な対応が取れている。

鎌倉市鏑木清方記念美術館 令和5年度（2023年度）第1四半期判定評価

評価項目	判定点	第4四半期 評価結果	減点
1 利用の承認等に関する業務			
来館者数の動向			
入館者数が前指定期間の同四半期の平均値と比較して80%以上の水準にあるか(不可抗力を原因とするものを除く)	0	×	5
特別利用			
作品に悪影響が出ないような適正な承認を行っているか	10	○	
2 美術館の施設及び設備の維持管理並びに運営に関する業務			
施設・設備の維持管理			
定められた点検が実施されているか	5	○	
不具合箇所を放置せず、必要に応じて修繕を実施しているか	5	○	
庭園、進入路などの手入れはきちんとされているか	5	○	
施設の運営			
館及び展覧会の周知が積極的に図られているか	5	○	
3 美術館の事業の企画及び実施に関する業務			
展示			
計画どおりに展覧会が開催されているか	10	○	
その他必要な業務			
展示以外の自主事業は適正に実施されているか	5	○	
来館者ニーズの把握・反映につとめているか	5	○	
4 鏑木美術品等の収集、修復、調査研究等に関する業務			
美術品等の維持管理			
美術品の所在は確認されているか	3	○	
温湿度管理など、美術品が適切に取り扱われているか	5	○	
調査・研究			
計画どおり調査・研究が進められているか	5	○	
出版物の管理・保管は適切に行われているか	3	○	
5 その他市長が定める業務等			
事務処理			
決められた期日までに報告書は提出されているか	5	○	
市との連絡調整はきちんとされているか	5	○	
市と協議を行った事項は確実に実施されているか	5	○	
固有の銀行口座で適正な会計処理を行っているか	10	○	
苦情対応			
来館者や近隣との間のトラブルに適正な対処をしているか	5	○	
苦情・要望への迅速な処理、市への報告はされているか	5	○	
その他			
研修等自己啓発の努力がされているか	3	○	
災害時の対応ができるよう、準備はされているか	3	○	
個人情報適切に管理されているか	10	○	
減点の計			5
総 計	112		

実施されている場合・・・○ 実施されていない場合・・・×

特記事項
特になし。

減額率

減点の合計	減額率
10～15	5%
16～20	10%
21～	20%